

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。(※ 施工プロ)とは施工プロセスチェックでチェックされた項目である。

(第三次評定者)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況 共通	I 施工管理	配点 : +5	配点 : +2.5	配点 : 0	配点 : -7.5	配点 : -15
		<input type="checkbox"/> 施工管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 施工管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 施工管理がやや劣っている。	<input type="checkbox"/> 施工管理が劣っている。
		評価対象項目 (赤字は必須評価対象項目) <input type="checkbox"/> 01. 約款第18条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。(※ 施工プロ 31) <input type="checkbox"/> 02. 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。(※施工プロ33、34、35、36) <input type="checkbox"/> 03. 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。(※ 施工プロ 34) <input type="checkbox"/> 04. 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合(数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。(※施工プロ33) <input type="checkbox"/> 05. 工事材料を品質に影響が無いよう保管していることが確認できる。(※施工プロ37) <input type="checkbox"/> 06. 品質確保のための対策等、施工に関する独自の工夫が見られる。(※施工プロ38) <input type="checkbox"/> 07. 中間検査及び段階確認の手続きが事前になされている。(※ 施工プロ 41) <input type="checkbox"/> 08. 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。(※ 施工プロ 45,46) <input type="checkbox"/> 09. 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。(※ 施工プロ 10,13) <input type="checkbox"/> 10. 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 社内の管理基準の設定、管理方法が工種毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 建設業退職共済証紙の配布が受け払い簿等により適切に管理されている。(※施工プロ09) <input type="checkbox"/> 14. その他 (理由: _____) ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。			<input type="checkbox"/> 01. 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 01. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
					上記該当事項があれば・d	上記該当事項があれば・e
		評価値が90%以上 . . . a 評価方法 評価値が80%以上～90%未満 . . . b ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 評価値が80%未満 . . . c ② 左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 ⑤ 低入札価格調査制度の調査基準価格を下回って落札した工事については、a・bの評価は行わない。(平成29年4月1日以降に公告又は指名通知を行う工事に適用する。)				
		評価値(%) : - 評定 : - ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	I 出来形	土木工事	配点：+10	配点：+7.5	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-10	配点：-20
			<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、ばらつきが小さく(規格値に上下限值がある場合は、概ね50%以内)、下記の「評定対象項目」のうち4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、ばらつきが小さく(規格値に上下限值がある場合は、概ね50%以内)、下記の「評定対象項目」のうち3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足するが、ばらつきについて(規格値に上下限值がある場合は、概ね80%以内)、下記の「評定対象項目」のうち3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足するが、ばらつきについて(規格値に上下限值がある場合は、概ね80%以内)、下記の「評定対象項目」のうち2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足するが、ばらつきが大きく、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 出来形管理が、出来形管理図等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 03. 出来形測定において、不可視部分が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 04. 写真撮影要領の撮影項目、時期、頻度を満足している。 <input type="checkbox"/> 05. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理されている。 <input type="checkbox"/> 06. 管理図の記載内容が正確で整理が行き届いている。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「C」評価とする。						
			評定：— 配点：— ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	I	機械設備工事・電気設備工事	配点：+10	配点：+7.5	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-10	配点：-20
			<input type="checkbox"/> 出来形管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや劣っている	<input type="checkbox"/> 出来形管理が劣っている
			評価対象項目 (赤字は必須評価対象項目) <input type="checkbox"/> 01. 据付に関する出来形管理が、出来形管理図等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 03. 機器等の測定(試験)結果が、その都度出来形管理図等に記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 05. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 塗装管理基準等の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 08. 溶接管理基準等の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 09. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録。 <input type="checkbox"/> 12. 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 測定機器のキャリブレーションを定期的実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 16. 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. その他 (理由：) ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。		
			評価値が90%以上 a 評価値が80%以上～90%未満 a' 評価値が70%以上～80%未満 b 評価値が60%以上～70%未満 b' 評価値が60%未満 c				評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること ② 左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		
			評価値(%) : - 評定 : -						
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

3-2-3 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	I 出来形	建築工事	配点：+10	配点：+7.5	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-10	配点：-20																													
			<input type="checkbox"/> 出来形管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形管理が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形管理が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			<p>評価対象項目</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>その他 (理由： _____)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p>						<input type="checkbox"/>	01.	承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05.	不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。	<input type="checkbox"/>	08.	出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	その他 (理由： _____)
<input type="checkbox"/>	01.	承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	02.	施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03.	出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04.	現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	05.	不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	06.	設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	07.	現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。																																				
<input type="checkbox"/>	08.	出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	09.	解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	10.	その他 (理由： _____)																																				
			評価値が90%以上 . . . a 評価値が80%以上～90%未満 . . . a' 評価値が70%以上～80%未満 . . . b 評価値が60%以上～70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 . . . c	<p>評価方法</p> ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。																																		
			評価値(%)：— 評定：—																																			
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	道路改良	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																			
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																			
			評価対象項目																																			
			【土工事】																																			
			<input type="checkbox"/> 01. 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。																																			
			【コンクリート工事】																																			
			<input type="checkbox"/> 05. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレタによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリートを含む） <input type="checkbox"/> 08. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. スペーサを適正に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。																																			
			【法面工事】																																			
			<input type="checkbox"/> 12. 施工基面が平滑に仕上げられていることなどが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. ネット・金網等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 土羽工の土質が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 層間にはく離がないことが確認できる。																																			
			【二次製品工事】																																			
			<input type="checkbox"/> 20. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。																																			
			【路盤・表層・区画線工事】																																			
			<input type="checkbox"/> 22. 路盤材料の規格値を満足している。（修正CBR等） <input type="checkbox"/> 23. 路床盛土において一層の仕上り厚20cm以下とし、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 路床・路盤工のブルーローリングを行っていることが確認している。 <input type="checkbox"/> 25. 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 27. 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 気象条件に適した混合物の運搬処理、舗設作業（締固等）の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																			
			評価値（％）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																			
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート 構造物 工事	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			評価対象 <input type="checkbox"/> 01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 02. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 05. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正で、鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足しており、スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 有害なクラックが無い。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	土工事・切土工事・盛土工事・築堤工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																						
			<p>評価対象</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>土羽工の土質が適正であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>CBR 試験等を行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>法面に有害なクラックや損傷がない。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01.	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05.	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08.	土羽工の土質が適正であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	CBR 試験等を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	法面に有害なクラックや損傷がない。	<input type="checkbox"/>	11.	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	01.	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	02.	段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	03.	置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	04.	締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	05.	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	06.	芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	07.	構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	08.	土羽工の土質が適正であることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	09.	CBR 試験等を行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	10.	法面に有害なクラックや損傷がない。																																							
<input type="checkbox"/>	11.	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。																																							
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																						
			<p>評価値（％）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																						
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c					
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																						
90%以上	a	a'	b	b																																					
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
60%未満	b'	c	c	c																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																						
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	護岸工事・根固工事・水制工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																						
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																						
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																												
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																												
			<p>評価対象</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>01.</td> <td>施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>02.</td> <td>裏込材、胴込めコンクリートが充てん、又は締め固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>03.</td> <td>緑化ブロック、石積み（張）、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがないように行っていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>04.</td> <td>石積（張）工又は埋戻しの材料について、設計図書の仕様を満足していることが満足できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>05.</td> <td>護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>06.</td> <td>遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>07.</td> <td>植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>08.</td> <td>根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結、又はかみ合わせが設計書の仕様を満足していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>09.</td> <td>指定材料の品質が、証明書類で確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10.</td> <td>基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>11.</td> <td>コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>12.</td> <td>施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>13.</td> <td>有害なクラックが無い。</td> </tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01.	施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	裏込材、胴込めコンクリートが充てん、又は締め固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	緑化ブロック、石積み（張）、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがないように行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	石積（張）工又は埋戻しの材料について、設計図書の仕様を満足していることが満足できる。	<input type="checkbox"/>	05.	護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08.	根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結、又はかみ合わせが設計書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	指定材料の品質が、証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	11.	コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	12.	施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	13.	有害なクラックが無い。
<input type="checkbox"/>	01.	施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	02.	裏込材、胴込めコンクリートが充てん、又は締め固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	03.	緑化ブロック、石積み（張）、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがないように行っていることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	04.	石積（張）工又は埋戻しの材料について、設計図書の仕様を満足していることが満足できる。																																													
<input type="checkbox"/>	05.	護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	06.	遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	07.	植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切であることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	08.	根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結、又はかみ合わせが設計書の仕様を満足していることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	09.	指定材料の品質が、証明書類で確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	10.	基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	11.	コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	12.	施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	13.	有害なクラックが無い。																																													
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																												
			<p>評価値（%）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																												
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c											
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																											
	50%以下	80%以下	80%を超える																																												
90%以上	a	a'	b	b																																											
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																											
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																											
60%未満	b'	c	c	c																																											

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																								
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	鋼橋工事 — R C床版工事はコンクリート構造物に準ずる —	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																								
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																										
評価対象 【工場製作】 <input type="checkbox"/> 01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。 <input type="checkbox"/> 02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っており、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細かに製作しており、欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 【架設】 <input type="checkbox"/> 09. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認でき、高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有しており、架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行なっていることが確認できる。			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													
評価値(%) : — 評定 : — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																														

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	河川改良	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象 【土工事】 <input type="checkbox"/> 01. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 【コンクリート工事】 <input type="checkbox"/> 05. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリートを含む） 【護岸工事】 <input type="checkbox"/> 08. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. ブロック、石積み、鋼製法枠、かご等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で裏込材の吸出しの恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で材料の連結、又はかみ合わせが適切であることが確認できる。 【法面工事】 <input type="checkbox"/> 13. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 14. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 土羽工の土質が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 層間にはく離がないことが確認できる。 【二次製品工事】 <input type="checkbox"/> 20. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。																																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — 承水路工事・排水路工事 —	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			<p>評価 対象</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 地形形状を考慮した施工がなされていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 継目が仕様書等で示す条件により施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされていることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 地形形状を考慮した施工がなされていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 継目が仕様書等で示す条件により施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされていることが確認できる。												
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	04. 地形形状を考慮した施工がなされていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	06. 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. 継目が仕様書等で示す条件により施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	08. 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされていることが確認できる。																																			
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合は○評価とする。</p>																																	
			<p>評価値（％）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																	
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — 集水井工 —	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象 <input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. ライナープレートを確実に固定できるように掘削が入念に行われ、ライナープレート端に触れてなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. ライナープレートが仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されており、接続(ボルトと締付)が仕様書に示すとおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 水抜きボーリング、排水ボーリングが図面及び仕様書により正確に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 梯子、あるいは階段が丁寧に取り付けられている。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値(%) : — 評定 : — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — 水抜きボーリング工 —	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																															
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。</td></tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。																		
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。																																				
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値（％）： — 評定： —																																		
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — 治山溪間工・堰堤工・床止工 —	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
評価対象 01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足しており、材料の品質が証明書類で確認できる。 02. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） 03. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 04. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 05. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 06. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 07. コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 08. 基礎地盤が確認され、丁寧に基盤面が仕上げられていることが確認できる。 09. 掘削法面勾配など地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 10. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 11. コンクリート面や打継目処理が丁寧に仕上げられていることが確認できる。 12. 排水パイプ、あるいは吸出し防止材が丁寧に施工されていることが確認できる。 13. 鉄線籠工等の詰め石が間隙の無いように実施されていることが確認できる。 14. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 16. 有害なクラックが無い。																																				
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合には○評価とする。																																				
評価値（％）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																				
			[判断基準]		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																						
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — 抑止杭工 —	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																						
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																												
			評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。																														
<input type="checkbox"/>	11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。																														
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																												
			評価値（%）： — 評定： —																												
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																												

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 — アンカー工 —	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			<p>評価 対象</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>法面整形が丁寧に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>ラス張と地山の間に隙間がなく、丁寧に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>法枠が地山形状になじんだ施工となっている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>孔内のスライムが十分除去されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>グラウトが十分に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01.	使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	法面整形が丁寧に施工されている。	<input type="checkbox"/>	04.	ラス張と地山の間に隙間がなく、丁寧に施工されている。	<input type="checkbox"/>	05.	法枠が地山形状になじんだ施工となっている。	<input type="checkbox"/>	06.	アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	孔内のスライムが十分除去されている。	<input type="checkbox"/>	08.	グラウトが十分に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。	
<input type="checkbox"/>	01.	使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																		
<input type="checkbox"/>	02.	材料の品質が証明書類で確認できる。																																		
<input type="checkbox"/>	03.	法面整形が丁寧に施工されている。																																		
<input type="checkbox"/>	04.	ラス張と地山の間に隙間がなく、丁寧に施工されている。																																		
<input type="checkbox"/>	05.	法枠が地山形状になじんだ施工となっている。																																		
<input type="checkbox"/>	06.	アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																		
<input type="checkbox"/>	07.	孔内のスライムが十分除去されている。																																		
<input type="checkbox"/>	08.	グラウトが十分に施工されていることが確認できる。																																		
<input type="checkbox"/>	09.	グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。																																		
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																	
			<p>評価値(%) : — 評定 : —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																	
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土工事 —	II 品質	舗装工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。					
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照									
評価対象 【路床・路盤工】 <input type="checkbox"/> 01. 施工に先立ち、CBR 値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 路床及び路盤工のブルフローリングを行っており、路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工しており、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 【アスファルト舗装】 <input type="checkbox"/> 06. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。（アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く） <input type="checkbox"/> 07. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 舗設後、直ちに供用する必要がある現場においては、交通解放が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 舗装の各層の継ぎ目の位置を仕様書に定められた数値以上にずらしており、縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理において、仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われており、密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 【コンクリート舗装】 <input type="checkbox"/> 12. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 13. 舗装工の施工に先だって、上層路盤の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等を測定しており、供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリートを含む） <input type="checkbox"/> 16. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。									
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。									
評価値（％）： — 評定： —									
※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。									

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	海岸工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
評価対象			【床掘（浚渫）工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 床掘（浚渫）にあたり、濁り防止等環境保全に十分注意して施工し、既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. 床掘（浚渫）土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工し、施工上の注意事項（仕様書等による）が守られていることが確認できる。 【帆布・マット工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. 帆布・マットが損傷なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. 帆布・マットの品質証明が書類により確認できる。 【捨石工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 07. 捨石基礎において、均し面が平坦に仕上げられていることが記録により確認できる。 【ブロック工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 08. 異型ブロック等の型枠、支保工の取り外しに関して、コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度達した後にに行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 09. 異型ブロック等の製作にあたり気象条件に適した運搬、打設、締め固めを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10. 異型ブロック等のコンクリートの供試体が、該当現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11. 設計書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12. コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分に調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13. 異型ブロック等のコンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14. 異型ブロック等のコンクリートブロックの仮置作業において、転倒、崩壊等の恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15. ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されていることが確認できる。 【その他工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16. 完成施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 18. 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。																																		
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																									
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	法面 工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																										
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																															
評価対象 <input type="checkbox"/> 01. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工】 <input type="checkbox"/> 05. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. ネット・金網等の重ね幅が10cm以上確保されており、ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 吹付け厚さが均等であり、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 【コンクリート又はモルタル吹付工】 <input type="checkbox"/> 10. 金網等の重ね幅が10cm以上確保されており、破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 吹付け厚さが均等であり、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. アンカーの施工長さが設計図書どおりの長さで施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 現場養生が適切に行われていることが確認できる。 【現場打法砕工】 <input type="checkbox"/> 18. 枠内に空隙がなく、層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. アンカーの長さ、グラウト、引張強度が設計条件を満足していることが確認できる。 【落石防護工】 <input type="checkbox"/> 22. ワイヤロープの交差部・連結部の固定が確実で、ゆるみなく施工されていることが確認できる。																																		
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
評価値(%)：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																														
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																			
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																				
			評価対象 01. 杭及び杭頭処理において、損傷及び補修痕がないことが確認できる。 02. 既製杭の打止め管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法（水平度、安全度、鉛直度等）が整備され、かつ記録が確認できる。 03. 溶接の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。 04. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 05. 場所打ち杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 06. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重が適切に管理されていることが確認できる。 07. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 08. ライナープレートの組み立てにあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されていることが確認できる。 09. 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 10. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 11. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っており、改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。																																				
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																				
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価</th> <th rowspan="2">ばらつき</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価	ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価	ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
			評価値（％）：－ 評定：－ 配点：－ ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																				
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート橋工事 — PC及びRCを対象 —	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																		
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			<p>評価対象</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 02. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等を測定しており、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 05. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 06. 鉄筋の引張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 07. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 08. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 09. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. スペースの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足しており、スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. プレベーム桁プレフレクション管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 装置（機器）のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. PC鋼材の緊張及びグラウト管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 16. プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 有害なクラックが無い。</p>																																		
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																		
			<p>評価値（%）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																		
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e															
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	塗装工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25															
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																			
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																					
			評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、なぐれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）	<input type="checkbox"/>	02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、なぐれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
<input type="checkbox"/>	01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）																							
<input type="checkbox"/>	02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、なぐれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。																							
<input type="checkbox"/>	08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。																							
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合は○評価とする。																					
			評価値（％）： — 評定： —																					
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																					

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	トンネル工事 — ナトム工法 —	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
評価対象			01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） 02. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度スランプ・空気量等を測定しており、当該現場の供試体であることが確認できる。 03. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 04. 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 05. 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 06. 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 07. 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 08. 金網の継ぎ目を15cm（1目）以上重ね合わせていることが確認できる。 09. 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 10. 吹き付けコンクリートの打ち継ぎ部の施工において、清掃及び湿潤状態が確認できる。 11. ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 13. 逆巻きの場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上にないことが確認できる。																																		
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（%）：— 評定：—			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ —土木工事—	II 品質	植栽工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 活着管理が適切に行われていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切になされ、樹木等の生育に害のあるものは除去され、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 肥料が直接樹木の根に触れないように均一に施肥されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。</td></tr> </table>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 活着管理が適切に行われていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切になされ、樹木等の生育に害のあるものは除去され、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 肥料が直接樹木の根に触れないように均一に施肥されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 活着管理が適切に行われていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切になされ、樹木等の生育に害のあるものは除去され、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 肥料が直接樹木の根に触れないように均一に施肥されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。																																			
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（％）： — 評定： —			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		
※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	防護柵—網—工事・標識工事・区画線等設置工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																					
【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																					
評価対象 【防護柵（網）、標識工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い、適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足しており、基礎設置箇所について地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面等へ影響が無いよう施工しており、根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えており、ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 【区画線等設置工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 07. プライマーの施工にあたって、路面に均一に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 08. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足し、施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足しており、区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 09. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足しており、施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10. 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。																																					
[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																					
評価値（%）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒 PC 構造物 工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																			
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																			
			評価対象 【コンクリート】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. 型枠・支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証拠書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の引張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 09. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11. スペーサーの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12. スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 【架設】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13. 装置（機器）のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14. PC鋼棒の緊張及びグラウト管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16. 有害なクラックが無い。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																			
			評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																			
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒鋼製構造物工事	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象 【工場製作】 <input type="checkbox"/> 01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。 <input type="checkbox"/> 02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 塗装の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 【架設】 <input type="checkbox"/> 07. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 現場塗装部のケレン及び塗膜管理を適正に行っていることが確認できる。																																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			【判断基準】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒消雪配管工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞						
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象 【土工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 【現場打コンクリート工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. 施工基面が平滑に施工されていることを写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. 配管及びノズルが適正な位置に配置されていることを写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 09. スペースを適正に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 【プレキャスト管工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10. プレキャストと取り付け部コンクリート構造物が適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11. プレキャストの規格が設計図書に定められた規格と同等以上であり、プレキャスト同士のつなぎが適正に行われていることが確認できる。 【アスファルト工事】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12. 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13. 気象条件に適した混合物の運搬処理、舗設作業（締固等）の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（％）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

【判断基準】

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒さく井工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																					
評価対象 <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>01. 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>02. 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>03. 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>04. 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>05. 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実にしていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>06. 仕様書に定める試験を確実にし、その結果についてよく整理されていることが確認できる。</td> </tr> </table>										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実にしていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 仕様書に定める試験を確実にし、その結果についてよく整理されていることが確認できる。										
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実にしていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 仕様書に定める試験を確実にし、その結果についてよく整理されていることが確認できる。																																			
[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																					
評価値（%）： — 評定： —																																					
※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																					
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	港湾 築造 工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																					
評価対象 【浚渫・床掘関係】 <input type="checkbox"/> 01. 床掘（浚渫）にあたり、濁り防止等環境保全に十分注意して施工しており、既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 床掘（浚渫）土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工しており、施工上の注意事項（仕様書等による）が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 余泥量・排泥率・吹上げ土量等の管理が適切に行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 材料等（製品含む）の品質規格証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 05. 浚渫等の汚濁水が仕様書に定められた水質に処理されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 濁り防止等の環境保全に十分配慮して施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 浚渫土量に見合った囲繞堤の規模（容量・堤幅・堤高等）が適正に計画・施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 排砂管、余水吐き施設及び堤外排水路など余水処理が適正に計画・施工されたことが確認できる。 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 09. 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクション等において、連続した様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. ペーパードレーンにおいて、計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できると共に、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 【マット、捨石及び均し関係】 <input type="checkbox"/> 15. 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. マットが損傷なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 裏込め施工において、既設構造物及び砂防目地の破損がなく施工され、記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控工関係】 <input type="checkbox"/> 19. 鋼材の規格・数量が証明書類（現物照合を含む）により確認でき、鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく、適切に施工され、打止め施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 腹起し材を規定の水平高さに全長にわたり取り付け、ボルトで十分締付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. タイロッドは隅角部等の特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 23. タイワイヤーは隅角部等の特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 24. 溶接及び切断の品質管理に関して、仕様書に定められている事項が確認できる。 【本体：ケーソン据付、ブロック据付関係】 <input type="checkbox"/> 25. ケーソン仮置に先立ち、仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に適切に行なわれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. ケーソン据付、中詰及びコンクリートブロック据付において、施工に先立ち、気象・海象等を十分に調査が行われており、ケーソン及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 <input type="checkbox"/> 27. 設計書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） 【その他】 <input type="checkbox"/> 28. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。																																					
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				【判断基準】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（%）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																																																							
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	下水道工事 — 開削・推進・シールド工事 —	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																																																							
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																																																							
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																																																													
			<p>評価対象</p> <p>【共通】</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>下水道工事において、仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>管渠（管布設・推進・シールド）工において、目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>管渠に影響を与えるクラックや変形がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>管渠に漏水管箇所がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>推進管の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>マンホールにおいて、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されており、各部材にはクラックや漏水がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置にガタツキがないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>インパートはその表面仕上げが適切であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>施設内に土砂、モルタル、材料の断片が見当たらず、清掃されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>12.</td><td>掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>13.</td><td>埋戻しにおいて、締固めが設計図書の仕様どおりに施工されており、工事終了後の沈下が見られない。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>14.</td><td>舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>15.</td><td>縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行なわれていることが確認できる。</td></tr> </table> <p>【シールドトンネルのみ適用】</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>16.</td><td>ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>17.</td><td>裏込注入の管理が適切に行われており、その記録が管理されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td>18.</td><td>日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われたことが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01.	下水道工事において、仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02.	材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03.	管渠（管布設・推進・シールド）工において、目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04.	管渠に影響を与えるクラックや変形がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05.	管渠に漏水管箇所がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06.	管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	07.	推進管の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08.	マンホールにおいて、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されており、各部材にはクラックや漏水がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	09.	マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置にガタツキがないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10.	インパートはその表面仕上げが適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11.	施設内に土砂、モルタル、材料の断片が見当たらず、清掃されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12.	掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13.	埋戻しにおいて、締固めが設計図書の仕様どおりに施工されており、工事終了後の沈下が見られない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14.	舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15.	縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行なわれていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16.	ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17.	裏込注入の管理が適切に行われており、その記録が管理されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18.	日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われたことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01.	下水道工事において、仕様書等で定められている品質管理が実施されている。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02.	材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03.	管渠（管布設・推進・シールド）工において、目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04.	管渠に影響を与えるクラックや変形がないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05.	管渠に漏水管箇所がないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06.	管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好に施工されていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	07.	推進管の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08.	マンホールにおいて、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されており、各部材にはクラックや漏水がないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	09.	マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置にガタツキがないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10.	インパートはその表面仕上げが適切であることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11.	施設内に土砂、モルタル、材料の断片が見当たらず、清掃されていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12.	掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13.	埋戻しにおいて、締固めが設計図書の仕様どおりに施工されており、工事終了後の沈下が見られない。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14.	舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がないことが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15.	縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行なわれていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16.	ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17.	裏込注入の管理が適切に行われており、その記録が管理されていることが確認できる。																																																																													
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18.	日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われたことが確認できる。																																																																													
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。</p> <p>② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																																																													
			<p>評価値（％）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																																																													
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c																																												
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																																												
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																													
90%以上	a	a'	b	b																																																																												
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																												
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																												
60%未満	b'	c	c	c																																																																												

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	電線共同溝工事 — 舗装工事含む —	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通しているのがわかり、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げており、特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足しており、舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II 品質	土木工事 — 維持工事—	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
出来形及び出来ばえ — 土木工事—			評価対象項目 (共通) <input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認が適宜・適確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 (その他) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 06. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 07. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 08. その他 (理由 : _____) 該当6項目以上 . . . a 該当4項目以上 . . . a' または b 該当3項目以下 . . . b' または c 注) 共通の4項目を必須の評価対象項目とし、このほかに下欄から適宜項目の記号を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。						
			評定 : — 配点 : —						
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

(その他の評価対象項目)

- 1) 維持工事全般
 - ① 社内の品質管理項目（基準）を設定し、管理している。
 - ② 施工条件、気象条件等を考慮し施工している。
 - ③ 応急的な維持作業に使用する材料についても品質を証明できる資料が整備されている。
 - ④ 応急処理の材料が、復旧までの期間を考慮したものを使用した。
 - ⑤ 水質事故、交通事故等の対応が迅速かつ適切であった。
 - ⑥ 夜間・休祭日において、緊急作業等を迅速かつ適切に対応した。
 - ⑦ 書面または写真等により、緊急作業時に必要な資機材及び人員で対応した。
 - ⑧ 施工時期や場所等での地域や環境への配慮を行った。
 - ⑨ 特定外来種、または貴重種を発見した後の対応が適切であった。
- 2) 路面維持工
 - ① アスファルト混合物の温度管理が適正に行っている。
 - ② 路面維持における前処理を適正に行っている。
 - ③ 既設舗装面とのすりつけを適切に行っている。
 - ④ 舗装の破損に適した工法で施工している。
 - ⑤ 設計図書に基づくアスファルト混合物の配合試験、試験練りが行われており、適切な品質の混合物を使用している。
 - ⑥ プライマーが適切な方法により均一に散布又は塗布されている。
 - ⑦ 打ち換えの舗装補修では、路盤の不陸が確実に修正され、切削工では切削面が平坦にできあがっている。
- 3) 道路維持工
 - ① 各応急処理の内容（実施前・実施中・実施後、実施場所、実施時間、実施体制、使用資機材）が写真で確認できる。
 - ② 緊急の応急処理事案を適切なメンバー構成で速やかに処理した。
 - ③ 地震予知情報、台風情報（気象情報）、その他の道路交通に影響を与える情報入手体制が適切である。
 - ④ 通常の道路パトロールにおける点検・状況把握（防護柵等の道路付属施設、路面性状、落下物、沿道工事の状況等）、応急対応、および、報告が適切に実施されている。
- 4) 応急処理工
 - ① 障害物（落下物等）を迅速に処理した。
 - ② 応急処理目的物が舗装面と段差がなく平坦性がよい。
 - ③ 蓋等のガタツキがなくしっかり固定されている。
- 5) 道路付属物工
 - ① 防護柵設置要綱等各種設置基準の規定どおり施工され、規格を満足している。
 - ② 材料の品質、形状が証明書等で確認できる。
 - ③ 支柱等の根入れなど不可視部分の出来型が写真等の記録により確認できる。
 - ④ 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫している。
 - ⑤ 基礎、支柱が沈下しないよう、設置孔の基礎部が十分締め固められ、堅固に立て込まれている。
 - ⑥ 取り替え前に、既存部材の形状等がきめ細かに調整され、支障なく本来の機能が確保されている。
- 6) 緑地維持工
 - ① 施肥、灌水、除草が適切な時期に的確に実施した。
 - ② 各種樹木の剪定時期が樹種の特성에応じて適切である。
 - ③ 害虫発生時の対応が速やかで的確である。
 - ④ 苗木・樹木の品質規格が適正である。
 - ⑤ 肥料・薬剤の品質規格が適正である。
 - ⑥ 剪定後における腐朽菌進入防止処置（防腐処理、切断面の傾き）が適切である。
 - ⑦ 中高木剪定において、枝に生じた剪定こぶ、あるいは、ウィルス枝感染などを適切に除去している。
 - ⑧ 鳥居などの添え木類の維持管理（添え木の要不要の判断。不要添え木の撤去。樹木の成長に伴うシュロ縄による締め付けからの解放など）が適切である。
- 7) 道路除草工
 - ① 除草作業の支障となる不要物を取り除いて適正に行っている。
 - ② 指示した除草範囲に刈残しや刈草の放置もなく、適切に処理している。
 - ③ 草の刈取り高が適切に実施されている。
 - ④ 集めた草を適切に処理している。
- 8) 道路清掃工
 - ① 清掃作業時に適切な撒水を実施している。

(路面、排水施設、トンネル、ガードレール)

- ②人力による補助清掃を実施している。
- ③汚れの程度、交通状況等を考慮した作業方法で清掃している。
- ④汚れの程度、交通状況等を考慮した作業方法で清掃している。
- ⑤洗剤等の付着物を残さないよう施工している。
- ⑥作業・運搬時に路面への飛散防止が適正に行われている。
- ⑦路面清掃で使用する回転ブラシの交換が適切な時期に実施され、過度な摩耗状態で実施していない。
- ⑧作業箇所毎のチェック記録表を作成し、作業漏れ等を防ぐなど工夫がみられる。

9) 河川除草工

- ①指示した除草範囲に刈残しや刈草の放置もなく、適切に処理している。
- ②草の刈取り高が適切に実施されている。
- ③除草後の集草実施箇所に刈草が残っていない。
- ④集めた草を適切に処理している。
- ⑤芝焼や刈草焼却において、むらなく焼却している。
- ⑥堆肥化において発酵管理を適切に行っている。
- ⑦除草にあたり、法面等の地形状況、気象条件、植生等をよく把握し、適切に施工を行っている。
- ⑧除草工実施に先立ち、障害物周辺の先刈、支障物への目印の添付、塵芥処理等を行っている。
- ⑨集めた草の処理の減量に努めている。

10) 塵芥処理工

- ①清掃のむらがなく、塵芥等が現地からきれいに取り除かれている。
- ②危険物等があった場合、遅滞なく報告されている。
- ③指示内容を迅速かつ適時・適切に実施されている。
- ④処分量等がマニフェスト等によりわかりやすく整理されている。
- ⑤塵芥等の分別が問題なく実施されている。
- ⑥作業範囲が適切で処理漏れがない。

11) 撤去物処理工

(河道閉塞土砂撤去等)

- ①施工基面が平滑に仕上げられている。
- ②土砂等撤去時に濁水対策等の環境面への配慮がされている。
- ③撤去時期が適切であり、河川管理施設および水生生物などへの影響も見られない。
- ④狭隘な箇所等施工条件の厳しい箇所の堆積土砂の撤去において、丁寧に施工されている。

12) 水面清掃工

- ①清掃範囲が適切であり、清掃漏れもない。
- ②清掃中に発見した河川管理施設等の異常が遅滞なく報告されている。
- ③作業実施にあたり、浮遊物等の清掃箇所を良く把握している。
- ④清掃船のメンテナンスが適切に行われ、記録等が整理されている。
- ⑤清掃場所、範囲、時期の設定(提案)が適正に行われている。

13) 伐開工

(伐木除根工等)

- ①枝、根を残さず、きれいに撤去されている。
- ②伐木除根後の整地等が適切に実施されている。
- ③指示された伐木除根範囲が適切に処理されている。
- ④搬出にあたり、枝葉や泥等の飛散防止対策をとっている。

14) ダム流木処理工

- ①清掃のむらがなく、流木等が適切に処理されている。
- ②適切に分別処理されている。
- ③リサイクル等処理について独自の取り組みが見られる。
- ④流木処理作業が迅速に実施されている。

15) ダム排砂排除工

- ①施工基面が平滑に仕上げられている。
- ②濁水等環境面への配慮がなされている。
- ③砂利規制計画に基づく施工がなされている。
- ④処理が迅速に実施され、実施期間も適切である。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
土木工事 修繕工事 			評価対象項目 (共通) <input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認が適宜・適確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 (その他) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由： _____) <input type="checkbox"/> 06. その他 (理由： _____) <input type="checkbox"/> 07. その他 (理由： _____) <input type="checkbox"/> 08. その他 (理由： _____) 該当6項目以上 . . . a 該当4項目以上 . . . a' またはb 該当3項目以下 . . . b' またはc 注) 共通の4項目を必須の評価対象項目とし、このほかに下欄から適宜項目の記号を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。						
			評価： - 配点： -						
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

(その他の評価対象項目)

1) 橋梁補強・補修工
(耐震補強、落橋防止
等を含む)

- ①設計図書に基づくモルタルが適切な規格(W/C、強度)である。
- ②モルタル打設時の必要な供試体を採取し強度が確認できる。
- ③鉄筋、鋼材の規格が証明書類で確認できる。
- ④鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。
- ⑤使用材料の品質確認を現場で実施し、その記録が整理されている。
- ⑥ボルトの締付け確認が実施され、適切に記録が保管されている。
- ⑦ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションが実施されている。
- ⑧アンカー引き抜き試験を実施し、必要強度の確認を行っている。
- ⑨削孔箇所の清掃を実施している。
- ⑩塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。
- ⑪既設鉄筋や既設部材の保全による構造全体の品質確保への配慮がされている。
- ⑫コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
- ⑬炭素繊維・鋼材・鉄筋の規格が証明書類で確認でき、引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
- ⑭電位差測定等により電気防食効果が明確に確認できる。
- ⑮ケレンが入念に実施されていることが確認でき塗膜厚管理が適切に行われている。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ ―土木工事―	II 品質	土木その他工事 ―歩道工・情報ボックス設置工―	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			<p>評価対象</p> <p>【歩道工事】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 01. 平板ブロック、インターロッキングブロックに、欠け・クラック等が無く、品質（強度、透水量等）が資料により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 02. 目地の処理が適切に行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 03. マンホールや敷地境のすり付け処理が丁寧に行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 04. 排水勾配が適切に施工されたことが確認できる。</p> <p>【情報ボックス設置工事】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 05. 張芝等法面処理が適切に行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 06. 舗装等表面処理が適切に行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 07. 情報ボックス本体（外管）・ハンドホールの埋戻しが、不等沈下しないよう適切な機種で十分締め固めされており、特記仕様書に基づく品質を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 08. 情報ボックス本体（外管）が滞水が生じないように、ハンドホール間で片勾配の設置がされており、特記仕様書に定められた規格値を満足していることが確認できる。</p>						
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>						
			<p>評価値（％）： ― 評定： ―</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ 土木工事	II 品質	上記以外の工事または合併工事 バラツキによる評価が適切な工事	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照 評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>その他</td><td>(理由: _____)</td></tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	02.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	03.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	04.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	05.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	06.	その他	(理由: _____)	<input type="checkbox"/>	07.	その他
<input type="checkbox"/>	01.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	02.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	03.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	04.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	05.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	06.	その他	(理由: _____)																																	
<input type="checkbox"/>	07.	その他	(理由: _____)																																	
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。							[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c					
評価値	ばらつきで判断可能																																			
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c																																	
60%未満	b'	c	c																																	
評価値(%) : - 評定 : -			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ 共通工事	II 品質	機械設備工事・電気設備工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25	
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。	
			<p>評価対象</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 02. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保していることが確認できる。 [確認資料：承諾図書]</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 [確認資料：承諾図書]</p> <p><input type="checkbox"/> 05. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 06. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 [確認資料：施工計画書]</p> <p><input type="checkbox"/> 07. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 [確認資料：施工計画書]</p> <p><input type="checkbox"/> 08. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に作動することが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 09. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 [確認資料：工場試験成績書、現地試験成績書等]</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 [確認資料：承諾図書]</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 設備全体についての取扱説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 機器の配置について、点検しやすいことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 設備の構造や機器の配置について、交換頻度の高い部品等の交換作業が容易にできることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 [確認資料：試験成績書]</p> <p><input type="checkbox"/> 19. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 22. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 24. その他（理由：.....）</p> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p>							
			<p>評価値が90%以上 . . . a</p> <p>評価値が80%以上～90%未満 . . . a'</p> <p>評価値が70%以上～80%未満 . . . b</p> <p>評価値が60%以上～70%未満 . . . b'</p> <p>評価値が60%未満 . . . c</p>	<p>[判断基準]</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。</p> <p>③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>						
			評価値（%）：— 評定：—							
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。							

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25	
3 出来形及び出来ばえ — 共通工事 —	II 品質	電気通信工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。	
			評価対象 <input type="checkbox"/> 01. 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。[確認資料：工場試験成績書、現地試験成績書等] <input type="checkbox"/> 04. 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 設備全体としての運転性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。[確認資料：工場試験成績書、現地試験成績書等] <input type="checkbox"/> 07. 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 設備全体についての取扱説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. その他（理由：.....） ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。							
			評価値が90%以上 a 評価値が80%以上～90%未満 a' 評価値が70%以上～80%未満 b 評価値が60%以上～70%未満 b' 評価値が60%未満 c	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）： — 評定： —							
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																										
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	II 品質	建築工事	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25																																										
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																										
			<p>評価対象</p> <p>(躯体工事)</p> <table border="0"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>施工の品質が、適切であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>その他 (理由 : _____)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p> <p>(仕上工事)</p> <table border="0"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>施工の品質が、適切であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12.</td><td>不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13.</td><td>中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14.</td><td>その他 (理由 : _____)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p>							<input type="checkbox"/>	01.	材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	施工の品質が、適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05.	不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	その他 (理由 : _____)	<input type="checkbox"/>	08.	材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。	<input type="checkbox"/>	11.	施工の品質が、適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	12.	不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	13.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>	14.	その他 (理由 : _____)
<input type="checkbox"/>	01.	材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	02.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	03.	施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	04.	施工の品質が、適切であることが確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	05.	不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	06.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	07.	その他 (理由 : _____)																																																	
<input type="checkbox"/>	08.	材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	09.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	10.	施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	11.	施工の品質が、適切であることが確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	12.	不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	13.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																																	
<input type="checkbox"/>	14.	その他 (理由 : _____)																																																	
			<table border="0"> <tr> <td>評価値が90%以上</td> <td>...</td> <td>a</td> <td rowspan="5" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上～90%未満</td> <td>...</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>評価値が70%以上～80%未満</td> <td>...</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%以上～70%未満</td> <td>...</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%未満</td> <td>...</td> <td>c</td> </tr> </table>							評価値が90%以上	...	a	<p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>	評価値が80%以上～90%未満	...	a'	評価値が70%以上～80%未満	...	b	評価値が60%以上～70%未満	...	b'	評価値が60%未満	...	c																										
評価値が90%以上	...	a	<p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																																
評価値が80%以上～90%未満	...	a'																																																	
評価値が70%以上～80%未満	...	b																																																	
評価値が60%以上～70%未満	...	b'																																																	
評価値が60%未満	...	c																																																	
			<p>評価値(%) : — 評定 : —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																																

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																												
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	II 品質	電気設備工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																												
			<p>評価対象</p> <table border="0"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>不可視部分の品質が、写真で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>設備の構造について、点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>その他（理由： _____)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p> <table border="0"> <tr> <td>評価値が90%以上</td> <td>・・・ a</td> <td rowspan="5" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上～90%未満</td> <td>・・・ a'</td> </tr> <tr> <td>評価値が70%以上～80%未満</td> <td>・・・ b</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%以上～70%未満</td> <td>・・・ b'</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%未満</td> <td>・・・ c</td> </tr> </table> <p>評価値(%)： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>							<input type="checkbox"/>	01.	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05.	システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	不可視部分の品質が、写真で確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08.	操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	設備の構造について、点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>	11.	その他（理由： _____)	評価値が90%以上	・・・ a	<p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>	評価値が80%以上～90%未満	・・・ a'	評価値が70%以上～80%未満	・・・ b	評価値が60%以上～70%未満	・・・ b'	評価値が60%未満	・・・ c
<input type="checkbox"/>	01.	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	02.	施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	03.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	04.	品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	05.	システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	06.	不可視部分の品質が、写真で確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	07.	機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	08.	操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	09.	設備の構造について、点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	10.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																																			
<input type="checkbox"/>	11.	その他（理由： _____)																																																			
評価値が90%以上	・・・ a	<p>評価方法</p> <p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																																			
評価値が80%以上～90%未満	・・・ a'																																																				
評価値が70%以上～80%未満	・・・ b																																																				
評価値が60%以上～70%未満	・・・ b'																																																				
評価値が60%未満	・・・ c																																																				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																															
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	II 品質	暖冷房衛生設備工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																															
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																															
評価対象			<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>不可視部分の品質が、写真で確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>設備の構造について、機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td>12.</td><td>その他 (理由： _____)</td> </tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p> <table border="0"> <tr> <td>評価値が90%以上</td> <td>・・・ a</td> <td rowspan="5"> 評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上～90%未満</td> <td>・・・ a'</td> </tr> <tr> <td>評価値が70%以上～80%未満</td> <td>・・・ b</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%以上～70%未満</td> <td>・・・ b'</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%未満</td> <td>・・・ c</td> </tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01.	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	04.	品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05.	システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	不可視部分の品質が、写真で確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08.	操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	設備の構造について、機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10.	バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	11.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>	12.	その他 (理由： _____)	評価値が90%以上	・・・ a	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	評価値が80%以上～90%未満	・・・ a'	評価値が70%以上～80%未満	・・・ b	評価値が60%以上～70%未満	・・・ b'	評価値が60%未満	・・・ c
<input type="checkbox"/>	01.	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	02.	施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	03.	品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	04.	品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	05.	システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	06.	不可視部分の品質が、写真で確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	07.	機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	08.	操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	09.	設備の構造について、機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	10.	バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	11.	中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																																						
<input type="checkbox"/>	12.	その他 (理由： _____)																																																						
評価値が90%以上	・・・ a	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																																						
評価値が80%以上～90%未満	・・・ a'																																																							
評価値が70%以上～80%未満	・・・ b																																																							
評価値が60%以上～70%未満	・・・ b'																																																							
評価値が60%未満	・・・ c																																																							
評価値(%)： — 評定： —																																																								
※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																																								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	ほ場整備工事 — 整地工 用排水路工 道路工 暗渠排水工 二次製品水路 —	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 現場内の地表水を排除し、ドライの状態で行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 濁水発生の防止等環境に十分留意して施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 石レキ、根株等の処理は仕様書に定められたとおり実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 表土剥ぎ取り、基盤切盛、基盤整地、表土整地等は仕様書及び設計図書により施工され仕上がりが良い。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 水口工・吐口工の設置位置や設置高さが、ほ場面標高を考慮して施行されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. 用・排水路の線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10. 構造物側面の埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付けの適正な施工が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13. 暗渠排水の管の布設が所定の深さで、凹凸がなく一定勾配で施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14. 暗渠排水の被覆材の施工及び管の埋戻しが、適期に仕様書等に示す条件で施工されていることが確認できる。</td></tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 現場内の地表水を排除し、ドライの状態で行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 濁水発生の防止等環境に十分留意して施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 石レキ、根株等の処理は仕様書に定められたとおり実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 表土剥ぎ取り、基盤切盛、基盤整地、表土整地等は仕様書及び設計図書により施工され仕上がりが良い。	<input type="checkbox"/>	07. 水口工・吐口工の設置位置や設置高さが、ほ場面標高を考慮して施行されている。	<input type="checkbox"/>	08. 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. 用・排水路の線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。	<input type="checkbox"/>	10. 構造物側面の埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	11. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。	<input type="checkbox"/>	12. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付けの適正な施工が確認できる。	<input type="checkbox"/>	13. 暗渠排水の管の布設が所定の深さで、凹凸がなく一定勾配で施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	14. 暗渠排水の被覆材の施工及び管の埋戻しが、適期に仕様書等に示す条件で施工されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03. 現場内の地表水を排除し、ドライの状態で行っていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04. 濁水発生の防止等環境に十分留意して施工していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	05. 石レキ、根株等の処理は仕様書に定められたとおり実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	06. 表土剥ぎ取り、基盤切盛、基盤整地、表土整地等は仕様書及び設計図書により施工され仕上がりが良い。																																				
<input type="checkbox"/>	07. 水口工・吐口工の設置位置や設置高さが、ほ場面標高を考慮して施行されている。																																				
<input type="checkbox"/>	08. 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	09. 用・排水路の線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。																																				
<input type="checkbox"/>	10. 構造物側面の埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	11. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。																																				
<input type="checkbox"/>	12. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付けの適正な施工が確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	13. 暗渠排水の管の布設が所定の深さで、凹凸がなく一定勾配で施工されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	14. 暗渠排水の被覆材の施工及び管の埋戻しが、適期に仕様書等に示す条件で施工されていることが確認できる。																																				
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																						
3 出来形及び出来ばえ —土木工事—	II 品質	ため池工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																						
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																						
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																												
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																												
			<p>評価対象</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01.</td><td>仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02.</td><td>材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03.</td><td>基礎処理工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い、適切に実施されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04.</td><td>施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05.</td><td>雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06.</td><td>気象条件を考慮した施工が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07.</td><td>鉄筋の加工・組立及びコンクリートの打設、締固め、養生等が適切に実施され、きめ細かな施工が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08.</td><td>コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09.</td><td>遮水工の施工が仕様書に従い適切に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10.</td><td>地盤改良の施工が仕様書に従い適切に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11.</td><td>盛土、フィルター工等の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12.</td><td>旧底樋の処理が適切と確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13.</td><td>計測機器類が仕様書に従い、適切に設置されている。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01.	仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02.	材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03.	基礎処理工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い、適切に実施されている。	<input type="checkbox"/>	04.	施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。	<input type="checkbox"/>	05.	雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06.	気象条件を考慮した施工が確認できる。	<input type="checkbox"/>	07.	鉄筋の加工・組立及びコンクリートの打設、締固め、養生等が適切に実施され、きめ細かな施工が確認できる。	<input type="checkbox"/>	08.	コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09.	遮水工の施工が仕様書に従い適切に施工されている。	<input type="checkbox"/>	10.	地盤改良の施工が仕様書に従い適切に施工されている。	<input type="checkbox"/>	11.	盛土、フィルター工等の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。	<input type="checkbox"/>	12.	旧底樋の処理が適切と確認できる。	<input type="checkbox"/>	13.	計測機器類が仕様書に従い、適切に設置されている。
<input type="checkbox"/>	01.	仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	02.	材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	03.	基礎処理工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い、適切に実施されている。																																													
<input type="checkbox"/>	04.	施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。																																													
<input type="checkbox"/>	05.	雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	06.	気象条件を考慮した施工が確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	07.	鉄筋の加工・組立及びコンクリートの打設、締固め、養生等が適切に実施され、きめ細かな施工が確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	08.	コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	09.	遮水工の施工が仕様書に従い適切に施工されている。																																													
<input type="checkbox"/>	10.	地盤改良の施工が仕様書に従い適切に施工されている。																																													
<input type="checkbox"/>	11.	盛土、フィルター工等の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。																																													
<input type="checkbox"/>	12.	旧底樋の処理が適切と確認できる。																																													
<input type="checkbox"/>	13.	計測機器類が仕様書に従い、適切に設置されている。																																													
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																												
			<p>評価値（％）：－ 評定：－</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																												
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c											
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																											
	50%以下	80%以下	80%を超える																																												
90%以上	a	a'	b	b																																											
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																											
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																											
60%未満	b'	c	c	c																																											
			<p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>																																												

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ —土木工事—	II 品質	管水路工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			<p>評価対象</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の規格・品質証明書が整備されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 管周辺部について仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 管継手部及びマンホール連結部の目地仕上げ、止水シール、止水ゴムが適切に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 管上部の埋め戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の規格・品質証明書が整備されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 管周辺部について仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。	<input type="checkbox"/>	04. 管継手部及びマンホール連結部の目地仕上げ、止水シール、止水ゴムが適切に施工されている。	<input type="checkbox"/>	05. 管上部の埋め戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。	<input type="checkbox"/>	06. 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。												
<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 材料の規格・品質証明書が整備されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 管周辺部について仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。																																			
<input type="checkbox"/>	04. 管継手部及びマンホール連結部の目地仕上げ、止水シール、止水ゴムが適切に施工されている。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 管上部の埋め戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。																																			
<input type="checkbox"/>	06. 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	08. コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。																																			
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			<p>評価値（％）： — 評定： —</p>			<p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>																														
			<p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート二次製品水路工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照 評価対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 仕様書で示す条件により、埋戻し・締固めが実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 目地が良好に仕上げられている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付け等の適正な施工が確認できる。</td></tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。	<input type="checkbox"/>	05. 仕様書で示す条件により、埋戻し・締固めが実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。	<input type="checkbox"/>	08. 目地が良好に仕上げられている。	<input type="checkbox"/>	09. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付け等の適正な施工が確認できる。										
<input type="checkbox"/>	01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04. 線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。																																				
<input type="checkbox"/>	05. 仕様書で示す条件により、埋戻し・締固めが実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	06. 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	07. コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。																																				
<input type="checkbox"/>	08. 目地が良好に仕上げられている。																																				
<input type="checkbox"/>	09. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付け等の適正な施工が確認できる。																																				
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（％）： — 評定： —			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																		
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	森林整備工事 植栽・保育	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																					
【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																					
<p>評価対象</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 仕様書で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 02. 材料の品質証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 地拵えの施工にあたり、木竹、低木等が地際から丁寧に刈り払い、伐倒されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 伐倒木や枝条等が適切に集積されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 05. 苗木の仮植に当たり、適切な場所を選択し、乾燥を防ぐための措置がなされていることが確認できる</p> <p><input type="checkbox"/> 06. 植栽にあたり、配植、整枝、剪定が適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 07. 植栽木に損傷や病虫害がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 08. 植栽にあたり、苗木の生育、保管管理に配慮したきめ細かな施工がなされていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 09. 施肥及び土壌改良の施工にあたり、苗木の生育に配慮したきめ細かな注意がうかがえる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 下刈り、除伐の施工にあたり、植栽木への損傷がなく、低い位置で丁寧に刈（切）払われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 下刈り、除伐の施工にあたり、除伐対象木等の刈（切）残しがないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 枝落としの施工にあたり、樹幹への損傷がなく、切り口がきれいであることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 本数調整伐の施工にあたり、選木が適切で残存木への損傷もないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. グライド防止の施工が適切で、きめ細かく施工されていることが確認できる。</p>																																					
<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																					
<p>評価値（％）： — 評定： —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																					
<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	木製 構造 物 工 事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価 対象 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認でき、証明書が整備されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 材料に損傷や補修痕がないことが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. その他（理由：.....）</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認でき、証明書が整備されている。	<input type="checkbox"/>	02. 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 材料に損傷や補修痕がないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。	<input type="checkbox"/>	07. 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。	<input type="checkbox"/>	08. その他（理由：.....）												
<input type="checkbox"/>	01. 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認でき、証明書が整備されている。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	04. 材料に損傷や補修痕がないことが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	06. 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。																																			
<input type="checkbox"/>	08. その他（理由：.....）																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			評価値（％）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	なだれ柵工事等	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																			
			評価対象 【共通】 <input type="checkbox"/> 01. 柵の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 柵の配置、締付固定が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（苗木）の規格が揃っており、損傷や病虫害がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 植栽間隔、植栽方法、時期、範囲が適切であることが確認できる。 【つり柵】 <input type="checkbox"/> 05. アンカー、ワイヤーロープの品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 06. 土砂アンカー、岩アンカーに規定の引張強度が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. ワイヤーロープの規定角度が適切であることが確認できる。 【人柵】 <input type="checkbox"/> 08. 土工は、過掘りがなく、構造物周辺の締固、残土処理等が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. コンクリートの強度・スランプ・空気量等が確認でき、また、運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等を適切に行っていることも確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																			
			評価値（％）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。																																			
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土工事 —	II 品質	治山 山腹 工事・主 にコン クリ ート工 事を主 体とし ない地 滑り・ 堰堤工 事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照 評価対象 【土工事】 <input type="checkbox"/> 01. 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 【コンクリート小構造物工事】 <input type="checkbox"/> 05. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレータによる締固、養生方法を適切に行っていることが確認できる。 【護岸工事】 <input type="checkbox"/> 08. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. ブロック、石積み、鋼製法枠、かご等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で裏込材の吸出しの恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で材料の連結、又はかみ合わせが適切であることが確認できる。 【法面工事】 <input type="checkbox"/> 13. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 層間にはく離がないことが確認できる。 【二次製品工事】 <input type="checkbox"/> 18. 用・排水路の施工基面が平滑でとおりが良いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 【植栽工事】 <input type="checkbox"/> 20. 植栽木に損傷や病害虫がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 植栽時期、方法が適切であることが確認できる。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。					[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			評価値(%)：— 評定：— 配点：— 評価値(%)：— 評定：—		注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
土木その他工事 取り壊し工			評価対象項目 【取り壊し工】 <input type="checkbox"/> 01. 施工計画書により定められた計画により管理されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 受注者の管理記録が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 不可視部分の写真記録が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由：)						
			判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。						
			評価：－ 配点：－						
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3	II	品質	配点 : +15	配点 : +12	配点 : +7.5	配点 : +4	配点 : 0	配点 : -12.5	配点 : -25	
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。	
土木その他工事または合併工事 バラツキによる評価が不適切な工事			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 02. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 03. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 04. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 06. その他 (理由 : _____) <input type="checkbox"/> 07. その他 (理由 : _____)							
			判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。							
			評価 : - 配点 : -							
			※ 総合評価落札方式で技術提案されている事項については、評価項目から除外する。							

3-4-1 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考査項目	細別	工程	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ 土木工事	Ⅲ 出来ばえ	道路改良・農道改良・林道・交通安全・路肩拡幅・歩道新設・災害防除工事等	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<p>評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通り、表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 小構造物にも細心の注意が払われ、きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 04. 法面の植生又はコンクリート（モルタル）吹付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 05. 路盤の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 06. 土工・構造物のすりつけや端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 07. 民地との境界処理が良い。 <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観が良い。			
<p>評定：－ 配点：－</p>			<p>評定条件</p> 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

3-4-2 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート 構造物工事・砂防 構造物工事・海岸 工事・トンネル工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<p>評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 04. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 05. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評定：— 配点：— </div>			<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>評定条件</p> 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d </div>			

3-4-3 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ 土木工事	Ⅲ 出来ばえ	土工 盛土・築堤工事等	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：－ 配点：－	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-4 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	切土工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 02. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 04. 施工面の木根等が確実に施工されている。 <input type="checkbox"/> 05. 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行なわれている。 <input type="checkbox"/> 06. 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

3-4-5 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	護岸・根固・水制工事・海岸工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 材料のかみ合わせが良い、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 02. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 通りがよく全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-6 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	鋼橋工事・雪寒鋼製構造物工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 02. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 03. 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 04. 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-7 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	河川改良工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の通りが良い。又は連結状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	地滑り工事 — 法面に係る抑止工を除く — 治山溪間工事 注 括弧内は集水井工事に適用する	配点 : +5	配点 : +2.5	配点 : 0	配点 : -5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 03. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 法面の通りが良い。(施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。) <input type="checkbox"/> 06. 植生、吹き付け等の状態が均一である。(排水処理が適切に実施されている。) <input type="checkbox"/> 07. 法面の端部処理が良い。(残土等は適切に処理されている。) <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観が良い。 注) 括弧内は集水井工事に適用する			
			評定 : — 配点 : —	評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d		

3-4-9 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	地滑り工事 — 水抜きボーリング —	配点 : +5	配点 : +2.5	配点 : 0	配点 : -5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 天端、端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 04. 排水処理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 05. 通りがよく全体的な美観が良い。			
			評価 : — 配点 : —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-10 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	舗装工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	法面工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 03. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	基礎工 — 地盤改良等を含む —	配点 : +5	配点 : +2.5	配点 : 0	配点 : -5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ※地盤改良はC評価とする。			
			評価 : — 配点 : —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート橋工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	塗装工事 — 工場塗装を除く —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 02. 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 03. ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 04. 塗装の均一性が良く、全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	植栽工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 04. 植栽帯の全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	防護柵—網—工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 04. 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 05. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

3-4-17 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪寒 P C 構造 物 工 事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. コンクリート構造物表面に気泡が目立たない。(又はプレキャスト部に欠損がなく、擦り傷が目立たない。) <input type="checkbox"/> 04. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 05. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 06. 漏水がない。(又は連結部の仕上げが良い。) <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評価： <input type="text"/> 配点： <input type="text"/>			評価条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪寒消雪配管工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 道路横断形状に対して設置位置が適切であり、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 設置高さが適切で、舗装面とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 起終点のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. コンクリートや舗装表面にクラックがなく、均一な仕上がりとなっている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪寒さく井工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 設置位置周辺の仕上がり良く、全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 工事写真によりケーシングパイプの接続や位置に細かな配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 揚水試験の結果が写真や報告書に的確に記録されており、取りまとめが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 建設発生土や汚泥の処理を確実にを行うなど、周辺への影響がないことが現地で確認できる。			
			評価： -d 配点： -	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	標識工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 02. 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 04. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-21 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	区画線工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 02. 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	維持修繕工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 02. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	港湾築造工事 — しゅんせつ工事を除く —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 03. 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	下水道工事 — 開削工・推進工 —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 03. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 04. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	下水道工事 — シールド工 —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 天端及び端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 06. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当6項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	電線共同溝工事 または 情報ボックス設置工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 02. プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 03. 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。 （情報ボックス設置工事） <input type="checkbox"/> 05. ハンドホール内に土砂・異物及び汚れがない。 <input type="checkbox"/> 06. ハンドホール外管の接合部の仕上げがよいのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 周辺地盤との擦り付けがよい。 <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観がよい。			
評価： <input type="text"/> 配点： <input type="text"/>			評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 共通工事 —	Ⅲ 出来ばえ	機械設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性がよい。 <input type="checkbox"/> 02. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
評価： <input type="text"/> 配点： <input type="text"/>			評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 共通工事 —	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事・照明設備工事・その他類似工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 02. 公共物として安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 04. ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 05. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観がよい。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ 共通工事	Ⅲ 出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事・その他類似工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 02. 公共物として安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 05. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観がよい。			
評価： — 配点： —			評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	建築工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部までの仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 04. 仕上がりの状態が良好で色調が均一でむら等がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 06. 保身に配慮した施工がなされている。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 機器又はシステムとして、運転状態、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 04. 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 05. 運転及び保守管理への対応が優れている。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	暖冷房衛生設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 機器又はシステムとして、運転状態、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 04. 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 05. 運転及び保守管理への対応が優れている。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	ほ場整備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工(畦畔、溝畔等)及び水路等の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 整地の均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 小構造物に注意が払われ、きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	ため池工事	配点 : +5	配点 : +2.5	配点 : 0	配点 : -5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工の仕上げが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 02. 土工の通りが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 03. 土工の構造物等へのすりつけが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 04. 吹きつけ(植生、モルタル等)の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 05. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 06. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 07. 法面部仕上げ、天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 08. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 09. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 10. 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 11. 全体的な美観が良い。			
評価 : — 配点 : —			評価条件 該当10項目以上 . . . a 該当9項目 . . . b 該当8項目 . . . c 該当7項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	管水路工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 管の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の表面状態や通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 復旧工や構造物とのすりつけ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. クラック及び陥没がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート二次製品水路工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 水路及び土工の通り・仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 水路の目地間隔が均一で漏水がない。 <input type="checkbox"/> 03. 土工及び水路の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. コンクリート構造物の通り及び仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックや破損がない。 <input type="checkbox"/> 06. 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評価： <input type="text"/> 配点： <input type="text"/>			評価条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	森林整備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 植栽、保育作業の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 伐倒木、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（植生）が健全で、良好な生育が期待できる。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	木製 構造物 工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 地山・既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物周辺の整地等が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 04. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	治山山腹 工事及び主に コンクリート 工事を主体とし ない地滑り、堰 堤工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 材料のかみ合わせ、主鋼構造物の通りが良く、連結状況も良好である。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 既構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-40 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	なだれ柵工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 構造物の通りが良く、連結状況も良好である。 <input type="checkbox"/> 02. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（苗木）が健全で、良好な育成が期待できる。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-41 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	しゅんせつ工事 — 港湾築造工事を除く —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 施工管理記録等から浚渫完了状態の良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 02. 浚渫後の河床（湖床）に極端な凹凸がない。 <input type="checkbox"/> 03. 浚渫土の搬出先に不陸が生じない工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 04. 浚渫土の最終運搬先が平坦に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的にきめ細かな施工が伺える。			
			評価： — 配点： —	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

